



公益社団法人全国助産師教育協議会

平成30年度「助産師教育ファーストステージ研修」募集要項

アドバンス助産師認証を希望される方で「助産師教育ファーストステージ研修」修了者は、認証後の5年間で臨地実習指導45時間以上を実施すれば、更新要件の指定研修180時間の研修を満たすことができます（最終頁参照）。

1. 研修目的

助産師教育に携わる教員や臨床指導者が、助産実践力を基盤に助産観と教育観に裏付けられた教育力を養い、ひいては助産師教育全体の質の向上を図ることを目的とする。

2. 募集人員

ファーストステージ研修受講生（全科目） 20名程度

科目等履修生 10名程度

*科目等履修生が修得した単位は、ファーストステージ研修の既修得単位として算入できます（次回開講年度まで有効）。

3. 出願資格

助産師教育に関わる、専門学校、短期大学専攻科、大学、大学専攻科、大学別科、大学院の教員で自分自身の教育力を高めたい、現教育を見直したい、あるいは再構築したいと思う教員ならびに臨地実習指導者

4. 受講料

	ファーストステージ研修（全科目）	科目履修（1単位）
会員校希望者	150,000円	20,000円
非会員校希望者	200,000円	25,000円

5. 授業科目と単位（時間数）

授業科目	単位（時間数）	備考
助産論	1（15）	助産論演習は、助産論の履修が必要です
助産論演習	1（30）	
助産師教育方法論	2（60）	助産師教育方法論演習は、助産師教育方法論の履修が必要です
助産師教育方法論演習	1（30）	
助産師教育課程	1（30）	
助産師教育評価	1（30）	
助産師教育実習	1（45）	科目等履修生は履修できません

計	8 (240)	
---	---------	--

担当講師は、決まり次第本会 HPにてお知らせいたします。

6. 期 間

開講期間 平成30年6月22日～平成31年3月11日

- ・年間スケジュールは、下記7. 開講予定のとおりです。
- ・開講時間は、1日5コマ（9:30～18:20）が基本です。

7. 開講予定

研修は、原則として下記の時期に2日間～6日間の連続開講となります。

月 日	曜 日	科目名
平成30年6月22、23日	金～土：2日間	助産論、助産論演習 *開講式
平成30年7月13～15日	金～日：3日間	助産論演習
平成30年7月30日～8月4日	月～土：6日間	助産論演習、助産師教育方法論 助産師教育方法論演習
平成30年10月5～7日	金～日：3日間	助産師教育方法論演習
平成31年1月25～27日	金～日：3日間	助産師教育課程
平成31年3月9～11日	土～月：3日間	助産師教育評価 *修了式
平成30年10月～平成31年2月の間のうち5日間		助産師教育実習
合計 240時間 (8単位)		

授業時間	1時限	9:30～11:00
	2時限	11:10～12:40
		(昼休み)
	3時限	13:30～15:00
	4時限	15:10～16:40
	5時限	16:50～18:20

8. 修了証書等の交付

修了者には公益社団法人全国助産師教育協議会会長名で修了証書を交付します。
科目履修生には修得科目証明書を交付します。

9. 開催会場

神奈川県助産師会立 とわ助産院 研修室 TEL：045-834-7556

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-10-20

JR 鶴見駅東口より徒歩2分

京浜急行線 京急鶴見駅より徒歩3分

10. 受講申し込み手続き

- 1) 期 間：平成30年3月6日（火）～6月14日（木）**必着**
- 2) 方 法：必ずホームページから web 申し込みをし、下記 11. に示すすべての書類を、書留速達により以下の住所に郵送して下さい。
- 3) 提出先：東京都文京区音羽 1-19-18

11. 受講申し込み書類 (ホームページからダウンロード可)

1) ファーストステージ研修受講生 (全科目)

(1) 受講申込書 (様式 1-1)

(2) 個人調書 (様式 2)

(3) 承認書 申込者が教育機関所属の場合

所属教育機関の助産師教育の責任者 (様式 3)

申込者が臨床指導者の場合

助産師関係の責任者と看護部責任者 (様式 3)

2) 科目等履修生

(1) 個人調書 (様式 2)

12. 受講決定後の連絡

受講決定後 E-mail で通知します (申し込み書類到着後 約 1 週間以内)。

(火・木 事務員在室)

13. その他

・ 宿泊場所及び昼食は各自で用意してください。

「助産師教育ファーストステージ研修」修了者は、アドバンス助産師認証後の5年間で臨地実習指導45時間以上を実施すれば、更新要件の指定研修「到達の条件（マタニティケア能力、専門的自立能力、ウィメンズヘルスケア能力）」を満たすことができます。

表1に示す通り「教員」のアドバンス助産師更新要件の＜基本版＞計180時間のうち、「助産師教育ファーストステージ研修」修了者は、＜全国助産師教育協議会開催のファーストステージ研修修了者版（2013年度以降）＞に該当するため135時間が認証されます。

表1 「教員」区分の指定研修180時間の＜基本版＞と＜全国助産師教育協議会開催のファーストステージ研修修了者版（2013年度以降）＞

<p style="text-align: center;">＜基本版＞</p> <p>到達の条件： 5年間で、1)～3)の要件を満たすこと</p>		<p style="text-align: center;">＜全国助産師教育協議会開催のファーストステージ研修修了者版（2013年度以降）＞</p> <p>到達の条件： 5年間で、臨地実習指導45時間以上を実施すること</p>
1) マタニティケア能力に関する研修 <u>10時間以上</u>	→	10時間認証
2) 専門的自立能力に関する研修 下記(1)、(2)の要件を満たすこと		
(1) 臨地実習指導を <u>60時間以上</u> 実施する 臨地実習指導実践レポート（臨地実習とは臨地で行う助産または母性看護に関する学生指導を指す）	→	15時間認証
(2) ①～⑤の研修合計 <u>100時間以上</u> 受講する ①「教育および臨地実習に関する研修」30時間以上 ②「研究に関する研修」15時間以上 ③「コミュニケーションに関する研修」15時間以上 ④「倫理に関する研修」15時間以上 ⑤「助産管理に関する研修」15時間以上	→	①～⑤の研修合計100時間認証
3) ウィメンズヘルスケア能力に関する研修 <u>10時間以上</u>	→	10時間認証
計180時間	→	計135時間認証

* 必須研修とステップアップ研修は含まれません。（『アドバンス助産師』vol.2、p10、12～14参照）

